

## 仲介業者

タイ SRS ガイドセンター様

## 手術執行病院

タイ・ガモンクリニック:Dr.ガモン・バンシートム

乳頭縮小手術 + 子宮・卵巣全摘出手術（腹腔鏡） + 陰核陰茎形成手術（尿道延長 + 陰閉鎖含む） + 陰嚢形成（睾丸インプラント含む）

## 期間

滞在3週間（入院期間 5泊6日）

## 滞在1日目

本日タイに向けて旅立つ。スーツケースの中身はなんだかんだと重くなってしまった。夕方の便。ひどい雨。機内で執筆中。かなり暇。到着は向こう時間で 21:00 過ぎ。日本時間では 23:00 過ぎ。とりあえずまだまだ...

現地時間で 21:45 頃到着。

待ち合わせ場所で仲介会社のお二人と合流してホテルに向かう。夜やし周りが見えへんこともあってタイに来たという実感はなし。今夜は寝るだけ。

## 滞在2日目

本日は明日は観光。

## 滞在3日目

引き続き観光。オベ後どれだけ動けるか分からないのでかなり移動しまくってお土産を買い漁る。

明日手術か。全く実感なし。

## 滞在4日目・オベ当日

いよいよ手術当日の朝。（入院日）

何の緊張もなく昨夜は熟睡。9:00 に仲介業者の方が迎えに来てくれてクリニックへ向かう。

10:00 頃クリニックへ到着。

入院の為の書類を整えた後しばらく待たされてから主治医とカウンセリング。ほとんど通訳してもらいながら話聞いているだけやったけど。

訪タイ前に仲介を通してかなりメールのやり取りを重ねていたのでその確認といった感じ。

んで、実際に局部のチェック。大きくも小さくもないです、と言われた。

入院する病室に移って毛を剃られる。んで浣腸。辛かった...

再び病室に戻ると点滴開始。麻酔の先生がやってきてアレルギー等聞かれた。

あと「なんでそんなに喉仏出てるの?!」と驚かれる。普通の変化やと思ってたんやが...

んでなんだかんだと話したりしてる最中に手術開始が 18:00 開始ではなく 13:30 開始であることが判明。いやいや、聞いてませんよ...

ってことであれよあれよという間に歩いて手術室へ。

手術室のベットに横になってしばらくすると麻酔の先生がやってきた。

点滴の管から麻酔を入れられて痛いな、冷たいなと思ってたらもう意識なかった。

目覚めたらもうオペは終了。22:00 終了。

相方も日本から付いてきてくれていた為ベットを覗き込んで「大丈夫？」という声で徐々に意識がはっきりしてくる。

麻酔のせいとかとりあえず全身ガタガタ震えてた。

「寒ーい」と叫んだり「痛ーい」と訴えていた。相方曰くそのうち「寒い」「痛い」より「おなかすいたー」の方が多くなったとのこと。

しばらくしてまた意識がなくなった。

6:00 に病室に移動するまでリカバリールームにて過ごす。一晩NS が付いていてくれる。

しばらくは酸素マスクをつけて酸素を流されていたが鼻の辺りがかゆくて何度か手をやる度にNS が来て位置を直してくれる。

いつの間にか酸素マスクが外され、心拍？のチェックの為にコードも外れていた。ごそっと動く度にNS が来てくれる。本当に一晩お世話になった。

### 滞在5日目・オペ後1日目

痛み止めと栄養補給の為に点滴を繋がれて病室に帰居。あと下半身にはドレーンとバルーンカテーテル。1日とうとうとしながら過ごす。

痛み止めのせいか痛みはないが下腹部と玉にズーンとした鈍痛を感じる。どっちかってと体位を変えられないことの方がつらい。

修正した乳首については何の痛みも感じず。触ると感覚はあるのでホンマに痛くないよう。また、右足先に若干のしびれ。感覚はあるので大丈夫かな。

おならが出ないと食事出来ないとのことで「屁え出るー」と「お腹すいた」を連発。その甲斐あってか午前中におならが出る。

通訳さん(プイさん)にも「元気ねー」といわれる。また、午前中に点滴と共に入っていた痛み止めを外される。

おならが出たことを報告すると夕食からスープを出してくれるという。水を飲んで良いとの許可が出る。15:00 ぐらいにいちごシロップのような飲み物を持ってきてくれる。(おやつ?)その後ドレーンの先の容れ物から血を捨てた様子。

相方に手伝ってもらいながらごろごろ体位を変える。

定期的に血圧と体温測定・全身清拭に来る。18:00 の検温の際に発熱有。解熱剤を服用。

以後定期的にというかほぼ毎日発熱有。また朝夕のバイタルチェック・全身清拭は退院日まで続く。

就寝は21:00、起床7:00 という規則正しい生活を送る。

食事は粥が中心。後半になってくると粥に飽きてきた。特に口に合わないということはない。

### 滞在6日目・オペ後2日目

夜中ごろごろしすぎたせいか股の間にあった小さい容器(ドレーン)が外れる。NSにつけなおしてもらおう。

10:00 頃術後初のDrの診察+処置。

点滴も今の分で終了。ドレーンは明日抜去予定。退院は明後日予定。陰部の状態も良好とのこと。

ベット上では比較的自由に動ける。ただギャッジ up して過ごせる時間はまだ短い。

痛みは相変わらず「ズーン」とした鈍痛。お昼ぐらいに点滴を抜かれる。左手も自由になり快適。夕方ちょっとたまらなくなり痛み止めを服用。

2 日目で降通訳さん（パイさん）が何かと気を使って下さり、ジュースやフルーツ等を差し入れしてくれる。

通訳さん（パイさん）がいない時でも NS やナースエイドが運んでくれるので言付けてくれているのか。

#### **滞在 7 日目・オペ後 3 日目**

12:00 頃 Dr の手によりドレーン抜去 + 処置。

歩行（トイレも）OK とのこと。

昼食後ベットより降りてみる。ふわふわして変な感じ。部屋の中をちょっとうろついただけで玉が痛くなった為すぐに横になる。

それ以後本日はおとなしくしている。が、やはり負担になったのかジンジンした痛みが続く。

19:00 過ぎ便意を感じてトイレへ。下痢気味の便。

ケータイは頻回に触っていたが、この頃より持ってきたゲームや PC、小説を読む余裕が出てくる。暇になってきたこともあるが体力的にも回復しつつあるということであろう。

#### **滞在 8 日目・オペ後 4 日目**

本日も午前中に排便有。割としっかりした便であった。

午前中に NS にて処置。

本日は通訳さん（パイさん）がお休み。仲介業者のスタッフのうちの 1 人が面会に来て下さった。胸オペ等について話した。その他仕事のことなど 1 時間ぐらい話したかな。

そして本日は 8 年ほどメールのみの関係であった FTM の友達と初対面の日。

異国の地で初対面とはね。たまたま日程が近かったのだ。なんかぎこちなかった…。お互い人見知りだからね。

便は腹圧がかけられないせいも少量ずつ回数が多い。

歩く時以外は特に痛みを感じず過ごす。歩いた後は体力の消耗を感じる。

ホルしてないせいもあると思うが-3Kg。外見もかなりやせ細ってしまっている。

#### **滞在 9 日目・オペ後 5 日目**

本日退院。

退院後は朝夕の通院にて処置があるとのこと。本日は夕方も処置があるから夕食後にクリニックを出るとのこと。

午前中に腹腔鏡の傷の抜糸、預けていた貴重品のチェックを済ませる。

昼食後友人が入院の手続きを済ませ病室に移ったとのことで会いに行く。

友人の仲介業者の方に「術後何日目ですか？あなた元気ですね！」と言われる。

当たり前だが自分の術前と同じ状態。頑張れよ。

15:00 過ぎオペ室に行く友人の背中を見送る。

17:00 過ぎ夕方の処置が有り、その際に着替えを済ませて退院。

下のズボンはやとりがあるものが良いとクリニックから貸していただく。円座も貸して頂ける。薬を受け取り、通訳さん（プイさん）と共に宿泊先の「コンドータウン」へ。

着いて早々に洗濯機を回す。隣の部屋に喉仏の手術をしに来た MTF さんがおられ、挨拶をしに来て下さった。

病院も一緒であった為相方は何度か言葉を交わし面識がある状態であった。時折食事や買い物をご一緒する。

退院して以降もほぼ就寝は 21:00、起床 7:00 という規則正しい生活を送る。

### 滞在 10 日目・オペ後 6 日目

以降帰国まで 10:30、15:30 にクリニックより迎えが来て通院処置する。友人の FTM が退院するまで午前の処置の際には病室に寄る。

また丁度グラチャンバレーが始まった為毎晩観戦する。日本のテレビが映るといのはありがたい。

本日午前の処置の際隣の MTF さんも一緒に通院処置。

先に彼女の処置があり次に処置室に呼ばれる。経過は良好。見る度に「睾丸の形がサイコー」と言われる。

処置後宿泊先に送られ相方は隣の MTF さんと通訳さん（プイさん）と共に買い物へ。午後の処置前に帰って来る。

17:00 頃痛みが強くなってきたので痛み止めを服用。

夕食は日本食を宅配してもらう。宅配の仕方が良く分からず仲介業者の方に世話になる。

退院してからのの方が移動距離や自分でしなければならぬことも増える為辛い。その為合間合間には横になっていることが多い。

### 滞在 11 日目・オペ後 7 日目

4:00 頃に目が覚める。痛みが強い。痛み止め服用。

本日午前の処置の際に乳頭修正部分の抜糸を行う。細かい縫合の為かちと痛い。無事終了。

帰居後昨日とは違う宅配に TEL。（夕食用）日本語のスタッフがいてくれるので無事注文できる。

18:30 前に電話があるがタイ語の為何か分からず。（恐らく宅配が届いた）相方がロビーまで取りに降りてくれる。無事受け取れた様子。

痛みはじっとしてても痛い時は痛いし大丈夫な時は大丈夫と波がある。とりあえず歩行中や歩行後はマジで痛い。

1 日 2 回の通院が今の状態の体には一番堪えるのだが…。つか処置も痛いし。

術後パルーン内に血尿もなく過ごす。入院中同様朝まで熟睡できない。

痛みがある場合もあるし、やはり寝ていても意識のどこかで自由な体位交換をセーブしている為であろう。

睡眠間隔はちゃんと延びてきているので大丈夫。

### 滞在 12 日目・オペ後 8 日目

0:00 頃ふと目が覚めるとじんじんした痛みが続く。痛み止めを服用する。

処置に行く度に通訳さん（プイさん）が外食に誘ってくれる。座るのが辛いので何度か断っていたのだが本日は行ってみることにする。

隣の部屋の MTF さんも誘って、とのことで一旦宿泊先に戻る。

入院中から処置の際には毎回手術部の写真を撮ってもらっていた。

車中、今回午前の処置の際に撮ってもらった写真を見ると陰茎部右側の縫合が弾けて開いている...？大丈夫か？？

宿泊先の駐車場にて MTF さんを待っている間に仲介業者の方から TEL がある。経過はどうかと現状の報告をする。

「自分から見て左側の玉がはなかなか腫れが引かない」と伝えると「なんか皆さんどちらかがそうなるみたいですね」とのこと。

右は徐々にしわも出てきて馴染んできている様子。

外出はやはり結構きつかった。どちらかと言うと立ってる方がマシなんだが後半はもうどうしても痛い状態に。

車中は往復とも後部座席にて横になっていたのが助かった。痛くはなるものの横になれば痛みが長引くことなく引くようになっている。

少しずつ良くなっている様子。さすがに帰居後はすぐに横になる。

午後の処置の際に画像を見せて大丈夫か尋ねる。問題ないとのこと。

本日 Dr の診察があり、なんと陰茎部右側面縫合部が 5mm 程壊死していると。

（毎回の写真は正面からだけのもので気付かなかった。もちろん映っていたとしても血の塊？ぐらいの認識しか出来なかったと思われるが...）

なんか NS とのやり取りの様子からして午前の処置時からわかってた?? その場でハサミで切られる...。痛い。出血有。

今回の処置部が特に痛むということもなく過ごす。だんだんソファにも腰掛けられるようになっている。恥ずかしながら退院してからコンドータウンの部屋では下半身はガーゼのみという格好で過ごしている。普通のホテルではこんな恰好で過ごせないのが有り難い。

深夜の服用以後本日は痛み止めの服用なし。

### 滞在 13 日目・オペ後 9 日目

本日 FTM の友人が退院とのこと。本人も元気そう。

午前の処置に行った際にお互いの手術部の写真を見せ合う...。まだ術後間もない為か大きく腫れている。彼も同様で左側。

術後同じ頃の自分の写真と比べてもかなりの腫れ。大丈夫かな。

処置の際に昨日の切除部からの出血がガーゼに付着。消毒の際にも血が出ている。

本日退院時貰った内服がなくなりそうであった為追加でいただく。

また帰国後ホルモン注射に行けるかどうか自信がなかったので、帰国前に注射してもらえるか通訳さん

(ブイさん)に聞いてみる。大丈夫とのこと。  
価格等はまた確認しておく。

午前の処置の後近くのマクドへ行く。持ち帰りにして昼食とする。

午後の診察の際には午前のような出血はなかった。  
明日睾丸部抜糸予定。月曜には Dr の診察がありカテーテル抜去の日取りを決定していくとのこと。  
左がまだ若干腫れているが玉出てこないだろうか...

右の睾丸の縫合部が回復の為か痒くて仕方ない。  
昨日に比べて更に歩行時や座っている際の痛みの軽減を感じる。痛みの出てくる間隔も長くなってきている。なんか昨日と比べても急にといった感じ。

本日も痛み止めの服用なし。そういう部分からも回復を実感する。  
本日タイ到着時～本日までの記録を一気に書いた。長時間こういうことする余裕も出てきたということか。  
術後から剃った陰毛が伸びてきているのだが肛門周辺(睾丸尻側)の毛がチクチクと痛い。とりあえずうつつ伏せになれないことが不便。

#### 滞在 14 日目・オペ後 10 日目

いつも通り朝の処置へ。本日から帰国まで FTM の友人と朝夕一緒に処置へ行くこととなる。

本日は通訳さん(ブイさん)がお休みなので仲介業者の別の方が来てくれていた。  
睾丸部の抜糸は朝の処置の際かと思っていたら午後の処置で、とのこと。  
本日の写真を見てみると弾けた部分は綺麗に治っている様子。  
午前動いていて感じたのは更なる回復。ほとんど痛みを感じることなく行動できる。  
歩行姿勢も今までなるべく股を広げ猿のようだったが通常に歩行出来ている。  
手術当初は「こんなんでも飛行機乗って帰れんねやろか...」と心配していたのが嘘のようである。

午後の処置でいよいよ抜糸。いつもはすぐに処置に現れるが今日はしばらく待たされる。  
10分ぐらい待って処置開始。場所が場所なのでより痛いように感じる。ピーっと引っ張って糸を抜かれたりする時は痛かった...。  
5分くらいで抜糸が終わり、いつも通り消毒して終了。抜糸後特に痛んだりする様子はなし。玉も出てこないようで一安心。(当たり前)  
次は月曜の先生の診察でカテーテル抜去の日と陰茎部の抜糸を待つのみ。

#### 滞在 15 日目・オペ後 11 日目

休日の為かかなり待つ。本日は仲介業者の 2 名のスタッフの方が来てくれる。  
「玉邪魔?」と聞かれる。「まあ二十数年ついてませんでしたから...邪魔です(笑)」等と話していると処置の部屋へ。  
元々傷が凄く綺麗とのことで抜糸後も特に問題ない様子。  
バルーンバックの方から尿漏れがあった為報告し、新しい物と取り換えていただく。

帰りに近くの薬局とスーパーに連れて行っていただく。  
ズボンを履く際や動くことが増えたせいか、カテーテル固定の為のテープがすぐに取れる為サージカルテープを購入。

スーパーでは食料の調達。屋台でパイナップルを購入。タイへ来てからフルーツが大変おいしく、特にパイナップル中毒になりつつある。

### 滞在 16 日目・オペ後 12 日目

午前中の処置の際に Dr の診察有。

陰茎先からの出血がずっと続いていること、壊死部分を切除した後の経過について主に見たかと思われる。

いつも通り特に問題なく、今のところトラブルもないと言われる。

何度か陰茎先から生理食塩水（かな？）を注射器にて注入するようかけられる。

出血（傷？）の有無を見ていたのか、縫合部からの漏れがないか見ていたのかはよく分からず。

明後日にカテーテルを抜去し、尿がちゃんと出るか・尿漏れが無いかのチェックを行うとのこと。ここで問題なければ予定通りに帰国。

問題があるようであれば滞在が最長 1week 程延びるとのこと。

陰茎先からの出血についてはカテーテルを挿入している際には擦れて出血することは通常でもあり得る為特に自分自身としては気にしていない。

（もちろん縫合部にも接している為「通常」と言うわけではないが...）

取りあえず明後日にカテーテルを抜去した際にトラブルがないことを祈る。1week も滞在が延びるのは正直痛いよ...

処置終了後 FTM の友人のスーツケースにトラブルがあったとのことで通訳さん（プイさん）のご厚意でスーツケースを購入できるモールに連れて行っていただく。

お昼もついでに。

そこで彼の睾丸が左右大きくずれているという話になり、ぐいぐい押されて戻されたということだった。純男でも左右対称じゃないやろうし、そもそも人間微妙に左右対称ではないのだからよっぽどのことではない限り気にする必要ないよね~と話した。

傷が癒えたら陰茎、睾丸共よくマッサージすると良いとのことであった。

夕食はコンドータウンの 1F にあるタイ料理レストランで摂る。英語でも書かれていたが何かよく分からず写真で選ぶ。

出て来たのはパスタ？大変おいしかった。

本日いつもより歩いた為か左玉が少し鈍痛があり、腫れぼったい気がする。

### 滞在 17 日目・オペ後 13 日目

寝起きでパックの尿を捨てに行った際激しい尿意が。

「おーおーおーおー...」と思ってる間に陰茎先から大量に放尿。その後も再度有。

今までもちろんと漏れてきたりはしたこともあったけど久々やったし、こんなのは初めて。

尿漏れの心配というより「もうこんなやつたら早く抜いて~」という心境。

クリニックにて報告。今まで腫れてカテーテルにぴっちりやったのが腫れが引いてくるに連れて余裕が出て来た為かもとのこと。

また内服が無くなりそうなので報告し、夕方受け取る。その際に手術証明を英文・日本語文共に 2 通頂く。

手術内容説明が欲しかったので伝えると用意して明日渡してくれるらしい。

また睾丸の素材について尋ねると実物は滅菌処理で手術の直前に出す為見せられないと。(サンプルはないのかな??)

よくわからんがコヒーシブシリコン??

明日は排尿チェックの為、日中クリニックで過ごして下さいと。また Dr よりダイレーションの説明や、注意点の説明も受けるとのこと。

患部は痛みはなくただひたすら痒い。

昨日の腫れや鈍痛は治まった。だが相変わらず術後左の玉の腫れはなかなか引かず突っ張ったまま。痛くはない。

壊死部分の傷については徐々に治ってきてる...かな。

玉が腫れてるから帰れん、ということはないみたいなので安心。

陰茎先からの出血は気にしていないと書いたが、新しい尿道の縫合部のトラブルがまだ残ってるのかな。油断したら癒着して狭窄・閉鎖ということも考えられるわな。まっダイレーションあるからそれは大丈夫?

本日で相方が日本へ帰国する。17 日間も休みを取ってついてきてくれたことに感謝。

#### 滞在 18 日目・オペ後 14 日目

昨日夜間に術後初めての血尿有。入眠するまでには治まらなかったが起床時にはなかった。

血の小さな塊が放尿の為のチューブに詰まり破棄できない...。どうせ抜くからいいか。

予定通りカテーテルを抜去できる。気持ち悪いような感覚と少しの痛みを感じる。取りあえず水分を取って排尿を促す。

12 時前に 1 度目の排尿有。尿の勢いにびっくりする。13:30 までに 3 計 3 回のチェックを済ませる。

尿意を感じてから実際に出るまでの大きなタイムラグに戸惑う。

オペ後であること、カテーテルを抜いたばかりということも踏まえて様子を見ていくことにする。

尿の出始めと終わりに血が混じる。内部の縫合部からの出血が考えられる為なるべく水分を摂って排尿するのが良いと。

チェックは済んだが、夕方の処置までクリニックで過ごすこととする。通訳さん(プイさん)がずっと付いて下さりフルーツなどをいただきありがたく頂戴する。

その間 Dr やタイの SRS 事情、オペの現状、また日本国内の GID (SRS) 事情等の話をする。

帰りにイソジン、ガーゼ、綿棒をいただく。壊死を切除した部分の消毒用。

昨日お願いした書類も併せていただく。ダイレーションの説明は帰国日に行うとのこと。

処置後宿泊先に戻り何度か排尿する。クリニックでの排尿とは違い尿意を感じたら比較的すぐに実際出るようになる。

左玉が腫れていて内股に擦れて痛い。一部赤くなっている。痛みはないがやはりあまり歩きまわらない方がよさそう。

およそ 2week ぶりに何にも繋がっていない状態がとにかく嬉しい。シャワーも ok とのことで嬉しい限り。

改めて写真や目視できる限り陰部の状態を観察。当たり前であるが全く違う状況になっている。不思議。

#### 滞在 19 日目・オペ後 15 日目

本日処置の為にいくと日本に帰った時の為に自分で消毒してみ、と。見られながら自分で消毒。

陰茎左側の縫合部周辺が腫れもあってか肉がせり出してきた。傷が癒えたら次第に柔らかくなり、更

にマッサージすることで長さも出るとのこと。  
クリニックからお昼を頼んでいただき持ち帰る。

明日注射していただけるか再度確認する。OK とのことので費用は 700B。

排尿の感覚は完全に戻っている感じ。  
ただ延長分の尿道に尿が残る。どうしても残る。「随分振ったぞー、上げるぞー」となるとぼたっと数滴落ちてくる。  
これはもどうしようもないのかね。血尿はなくなった。  
左玉の腫れもかなり治まってきている様子。長時間立っているとインプラントの重みで徐々に痛くなってくる。これ地味に辛いね。

FTM の友人は傷については何の問題もなく経過している様子。  
ただ睾丸が右が手前にずれているのに加えどうやら左は後ろに後退し過ぎているのでは。と言っていた。  
当たり前であるが同じオペを受けてもその後の経過やトラブルは個人によって全く違う。

#### 滞在 20 日目・オペ後 16 日目

本日でタイ最終日。  
朝処置に行った際に 13:00~13:30 の間にダイレーションの説明をされると言われる。本日もクリニックで過ごす。  
仲介業者の方とダイレーションのことやミニペニス、陰茎形成の話をしたりする。

13:00 過ぎに別室に呼ばれるが 1 時間ほど待たされる（その間入眠）。先生は本当に忙しいみたい。  
先生が来られダイレーション開始。通訳さん（プイさん）がケータイにてムービー撮影。（本日のみしかダイレーションの説明を受けられないので念の為）  
ただ細めのカテーテルを突っ込むだけなのだが痛い...入れてしまえば痛みはないけど。まだ内部も完全に治ってないせいでだろう。  
1 日 1 時間以上を 6 ヶ月続ける必要があるとのこと。  
その他制限事項を確認するが入浴について言われたのみであとは大丈夫とのこと。陰茎部の縫合については溶ける糸なので問題ないそう。  
最後にクリニックの記録の為写真を撮る。撮られまくる。  
出来については完治していない為何とも言えない。

しばらくしてホルモン注射もしてもらおう。久し振りで緊張する。ゆっくり時間をかけてして下さったがやはり液が入ってくる段階は痛い。  
ダイレーション後に処置もしたのでもう帰って良いとのこと。ダイレーション用のカテーテルとゼリーや傷につける軟膏をいただく。  
夕方会うと思っていたので FTM の友人にきちんと帰国のあいさつをすることができなかった。  
タイに来てから 2 日間観光に使ってしまったので予定通り帰れるか不安であったが本当に良かった。

Dr は年々忙しくなっている様子で大変喜ばしいと同時に身体も心配である。（まだ先だそうだがクリニックを移転、拡大されるそうやし）  
ホンマに分刻みで動いているような感じ。くれぐれもご無理のませませんように...。  
その他クリニックのスタッフ、NS、ナースエイドには大変お世話になった。  
もちろん仲介業者の方、通訳さん（プイさん）には現地では本当に良くしていただいた。  
仲介業者の代表の方もとても忙しくされているように感じたが、毎日必ず通訳さん（プイさん）か業者

の別の方が付き添って下さり大変感謝。  
異国の地での大手術でありながら手術や自分の体調のことだけに集中させていただけたと思う。  
皆様も本当にご無理の出ませんように。  
これからのますますのご発展とご活躍をお祈りいたします。

### 術後 1 カ月と 5 日目での状況

#### 消毒・ダイレーション等

帰国後はシャワー後就寝前に 1 時間のダイレーション+消毒・薬の塗布。朝は消毒+薬の塗布。ダイレーションの際しばらくは出血があったのも治まっている。治りかけた傷がダイレーションによって再び開いて、日中治癒して...を繰り返しているのですね。まだ痛みもあるし何とも言えない。表面の傷に関しては壊死部の傷が一番心配であったが、帰国後数日でかさぶた？が取れ新しい皮膚が形成されていた。その他縫合部の傷についても特に出血する様子はなく順調に回復している様子。ただ傷の痛みではないが術後なのでそういう痛みは時折感じる。通常の生活には支障なし。

#### 排尿

カテーテルの取れた日から特に尿漏れはなし。衣類を身につけている際はかなり下までズボンとパンツを下さなければまだ自信がない。という感じであったが外出中尿意が我慢出来なくなり物陰でしてしまった(反省)。ちょっと濡れたが出来る！まだ完全に回復しているわけではないので(術後の痛みがまだある)これから練習次第で何とかなる気がする。ただ延長した尿道部にどうしても尿が残る...

#### 仕上がり

術後からずっと左玉が腫れている状態で、現在も若干右に比べれば大きい。まだ少し腫れていると言えは腫れている気もするが、痛みはなし。仲介を通してクリニックに問い合わせさせていただいたところ廃液がまだ溜まっているのかもということで、特に化膿している等の問題は感じられないとのこと様子観察中。陰茎そのものについては元々の大きさもあるので大きさは別として満足している。壊死部分の切除や、術後陰茎付け根左側(縫合部)がせり出してきてたりしたこと多少歪ではあるが。

#### 仕事

元々は 1 カ月半程療養するつもりであったが職場の事情も重なり術後 1 カ月で復帰した。仕事内容としては完全に体力・力仕事である為心配であったが上手いこと調整しつつなんとか。患部の心配より体力が自信を持てるほど戻っていなかったのが心配の種であった。実際は日常生活に必要な体力・筋力は復帰までに戻っていたので心配するほどの負担にはならなかった。内摘の手術方法について腹腔鏡を選択して正解であった。